



水質や生物の調査、外来種の駆除、ビオトープの整備・清掃…。
 今、水辺を舞台に様々な取り組みが住民の皆さんによって進んでいます。
 その輪を広げ、水辺の活用を地域活性化にもつなげたい—。
 入間川流域には新しい官民連携があります。
 令和6年度武州・入間川プロジェクト、始動しました。

令和6年度
助成団体募集

「川の守り人」応援!

官民連携の新しいカタチ。入間川流域の環境保全活動を助成します。

活動を支える取り組み



小学生の環境学習

武州ガス株式会社(企業)、荒川上流河川事務所(河川管理者)、公益財団法人埼玉県生態系保護協会(有識者)が主体となり、入間川流域で環境保全活動に取り組む市民団体などの活動を助成・支援します。

農業残留分析調査などに活用
 はとやま環境フォーラム(鳩山町)

鳩山町の周辺で水質や生物の調査、外来種の駆除、ビオトープの整備・清掃などに取り組んでいます。仲間と汗を流し、おいしいものを食べ、自然を満喫して里山づくりなどを楽しむ活動を続けています。本プロジェクトの助成を受けて、町内にあるゴルフ場の排水路で農業残留分析調査を2006年から毎年実施しています。今年度は、15年間の分析成果をまとめた報告書を作成する計画です。このほか、これまでの活動を紹介する展示パネルを製作します。



農業残留分析調査

令和6年度の
 助成団体を募集
 応募締切は3月15日です

- 助成対象/市民団体、学校などの非営利団体による公益的な活動
- 助成範囲/入間川流域の8市8町1村(川越市、狭山市、入間市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、坂戸市、鳩山町、毛呂山町、飯能市、東松山市、嵐山町、小川町、ときがわ町、越生町、寄居町、東秩父村)での活動
- 助成内容/1団体最大20万円
- 募集期間/令和6年3月15日まで



原次郎先生治水彰功碑

入間川の治水と武州ガス

武州ガス株式会社の創始者・原次郎氏は、入間川の治水に尽力しました。氏は明治28(1895)年、現在の坂戸市生まれ。水害常襲地帯で育ち、「治水を図り、貧困をなくす」と誓ったといいます。武州ガスは、氏の遺志を継ぎ、入間川流域を次代へ伝えるため「武州・入間川プロジェクト」に参画しています。



高校生がビオトープの管理実習